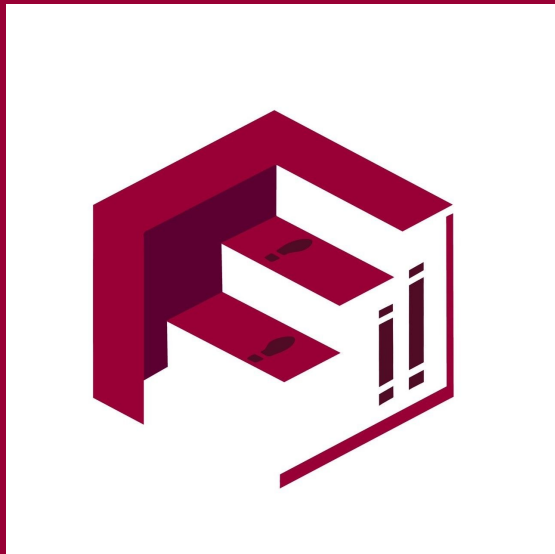


探究アーカイブ

Outline

- ・ 進捗状況とアプリの動作感
- ・ 相談事項→カテゴリの種類と量、名前でのヒット
- ・ 運用コスト
- ・ セキュリティ問題
- ・ 資料データ提供
- ・ リリース予定日

進捗状況 > アプリ名とアイコン



アプリ名：探究アーカイブ

アイコンに込めた思い：

- ・ボックス→スタイリッシュ
- ・足跡と階段→ステップアップ
- ・本棚→知識の集まり

進捗状況 > 画面構成

[open figma](#)

進捗状況 > メンバー

3人

- ・デザイン担当（みつき）
- ・グラフィック、データ管理担当（いっせい）
- ・UI、フロントエンド担当（あおい）

インスタグラムで広報しながらメンバー募集中



相談事項1: カテゴリとサブカテゴリ

全ての探究テーマを、
右の15個のカテゴリに分類する。

1つの探究テーマにつき、2つのカテゴリと
サブカテゴリを持つようにする。

例：紫外線は敵じゃない！

～紫外線発電の創作と普及～

①健康・医療＞紫外線

②工学・テクノロジー＞エネルギー

カテゴリ

- 社会・地域
- 人文歴史
- 人権・ジェンダー
- 国際
- ビジネス・経済
- 一次産業
- 教育・スポーツ
- 自然環境
- 科学・数学
- 工学・テクノロジー
- 健康・医療
- デザイン・アート
- くらし
- プロジェクト
- その他

相談事項2:検索のヒット

キーワードでのヒット

- ・ 探究テーマ
- ・ (アブストラクト?)
- ・ 名前 ← **検討事項**

絞り込み条件

- ・ カテゴリ、サブカテゴリ
- ・ イベント名 (信州学 or 個人探究)
- ・ 期間 (実施年度)
- ・ 学科

名前で検索できていいか

メリット:

特定の人 of 探究が見たい、ってときにまとめて表示できる。

デメリット:

面白半分で調べる人がある

進捗状況 > これから

アプリの大枠は完成してきたので、ここからは開発

- ・ フロントエンド → Flutter
- ・ ログイン認証 → Firebase authentication
- ・ ストレージ → メタ情報 → Cloud Firestore
 pdfファイル → Cloud Storage

サービス選定にあたって検討した点

- ① Googleが提供しているサービス → 縣陵ドメインと相性がいい
- ② サーバーはGoogle持ち → 情報漏洩などのリスクが低い
- ③ 料金プランが従量課金制で、無料枠も多い

進捗状況 > リリース日程など

2024 4月

ベータ版をリリース。「2年生探究科」の皆さんに使ってもらって、修正案、バグなどをもらい、コード修正。

2024 9月

正式版リリース。一度に多くのアクセスがあるとコストがかさむので、少しずつ使ってもらう人を増やしていきたい。（1年生優先？）

運用コスト 概算

フロントエンド	—	App Store更新費	→	11800円 / 年	
ログイン認証	—	Firebase authentication	→	無料	
・ストレージ	—	メタ情報	→	Cloud Firestore	→ ほぼ無料
		pdfファイル	→	Cloud Storage	→ 下で試算

紙の資料を使って説明します。

運用コストの見積もり

データ提供について

どの年度のどの資料があるのかなどをまとめてみました。

いつの世代は何作ってるのまとめ

不明な部分の確認と、
資料利用にあたっての誓約書などの確認がしたいです。